

3 章 研究課題

本研究では、ヒトの随意運動に伴う中枢の活動状態について検討するため、前記の文献研究に基づき以下の研究課題を設定して研究を行った。研究課題一覧については図 2 に示す。

1. ヒトの随意運動開始前の準備期 (foreperiod) における入力系の変動と中枢の活動状態について中・長潜時体性感覚誘発電位 (SEPs) を指標に用いて検討する (研究課題 1)。
2. 随意運動開始前の準備期 (foreperiod) における中枢の活動状態についてより全体的にとらえるため、随伴陰性変動 (CNV) と脳波周波数解析を指標に用いて検討する (研究課題 2)。
3. 体性感覚刺激識別課題 (計数課題, 反応課題) に伴う中枢内情報処理過程について事象関連電位 P300 を指標に用いて検討する (研究課題 3)。
4. 課題遂行のための方略の違い (accuracy vs. speed task) が中枢内情報処理過程に及ぼす影響について事象関連電位 P300 を指標に用いて検討する (研究課題 4)。
5. 出力系の反応実行過程に着目し、自発的な随意運動に伴う中枢内情報処理過程について運動関連脳電位 (MRCP) を指標に用いて検討する (研究課題 5)。

研究課題一覧

研究課題1. 随意運動開始前の準備期 (foreperiod) における中枢の活動状態・中・長潜時体性感覚誘発電位成分 (SEPs) を用いての検討.

研究課題2. 課題条件の違いが随伴陰性変動 (CNV) と脳波周波数成分に及ぼす影響 accuracy vs. speed task

研究課題3. 体性感覚刺激識別課題に伴う中枢内情報処理過程

研究課題4. 課題遂行のための方略の違いが中枢内情報処理過程に及ぼす影響

研究課題5. 自発的 (self-paced) な随意運動に伴う中枢内情報処理過程・運動関連脳電位 (MRCP) を用いての検討

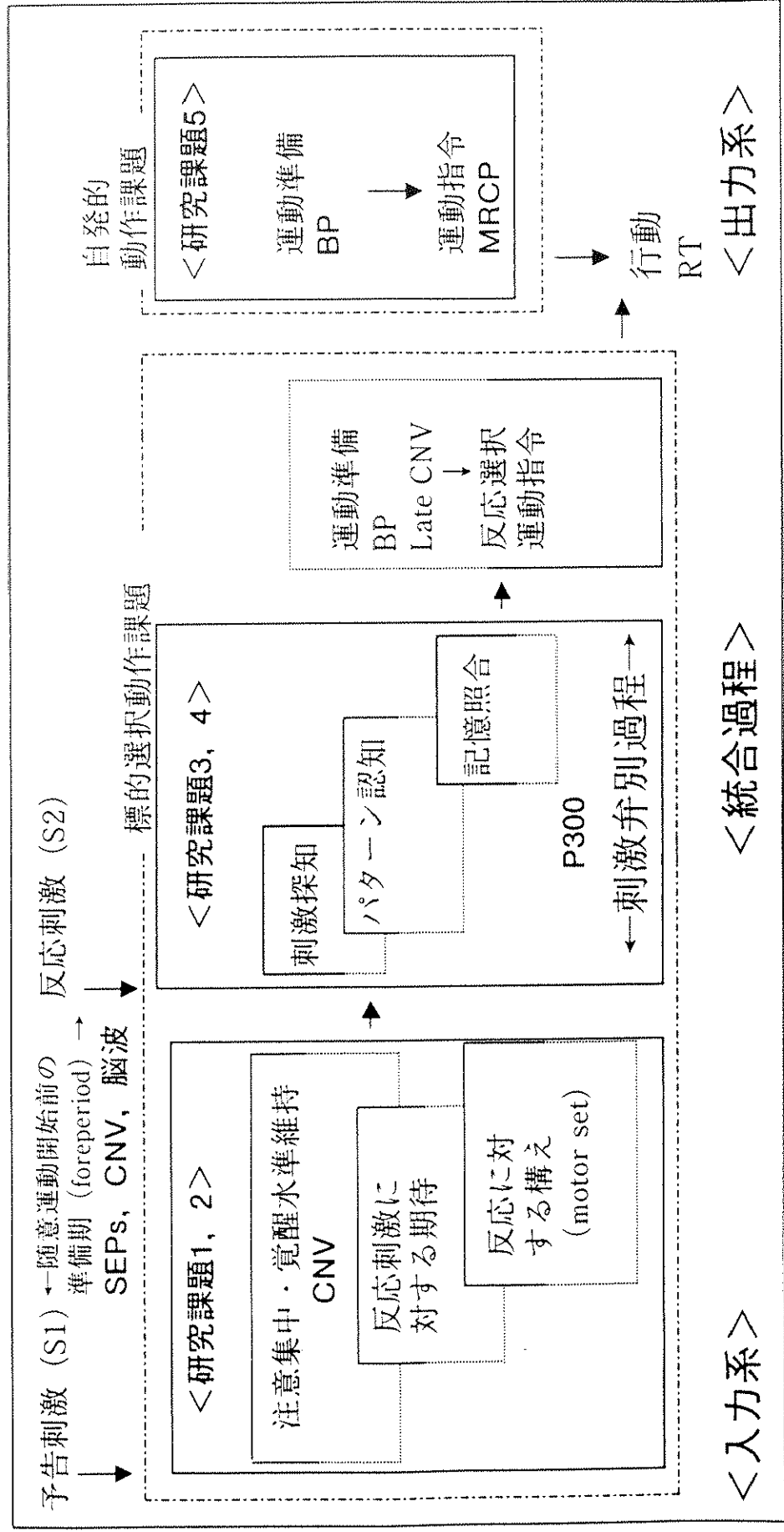


図2 本研究における研究課題一覧とそのフローチャート